



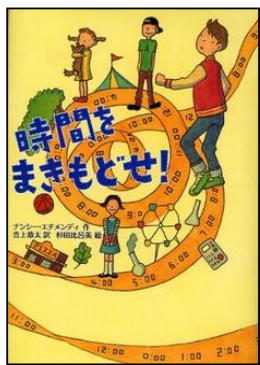
『ポリッセーナの冒険』(Nピッ)
ビアンカ・ピッツォルノノ／作 徳間書店

自分もらい子だと知ったポリッセーナは動物劇団のルクレチアや動物達と共に実の両親を探す旅に出かけます。はたして両親を見つける事ができるのか？ ハラハラドキドキの連続でラストまで目がはなせません。



『まだ名前のない小さな本』(Nミリ)
ホセ・アントニオ・ミリヤン／著 晶文社

「むかしむかし」と「おしまい」のたった2行しか書かれていないくちっちゃなお話>がなかなか大きくならない訳をさがすため冒険に出かけます。物語の登場人物は全て「本」。この本を読むと本がもっと好きになるかも。



『時間をまきもどせ!』(Nエチ)
ナンシー・エチメンディ／著 徳間書店

森で会った老人に失敗を取り消すことができるという機械をもらったギブ。その夜、ギブは友だちと妹と移動遊園地に出かけたが、妹はギブが目をはなしたすきに事故に会い、意識不明に……。責任を感じるギブは何とかその機械で妹を助けようとする。ギブは妹を助けることができるのか……。

利用案内

- ◆大和郡山市に在住・在学・在勤の方は、利用者カードを作ることができます。
- ◆5冊まで、2週間借りられます。
- ◆貸出中の本の予約、所蔵していない本のリクエストができます。
- ◆司書が調べ物のアシストをします。探している本が見つからないときは、お気軽にお尋ねください。

図書館のホームページを使って

- ◇パスワードを登録→貸出中の本の予約
貸出本の延長(予約が入っている場合は不可)
- ◇メールアドレスを登録→予約本の取置きをメールでお知らせ

【P C】 <https://www.yamatokoriyama-library.jp/>
 【携帯】 <https://www.yamatokoriyama-library.jp/toshoi/>



【開館時間】
土曜日 9:30~21:00 土曜日以外 9:30~19:00

【休館日】
毎週火曜日、第1・第3水曜日(祝日にあたる場合は翌日休館)
年末年始 特別整理期間

【大和郡山市立図書館】
大和郡山市北郡山町211-3 やまと郡山城ホール内
TEL:0743-55-6600

yondoco

中学校・高校版 第12号 2013.01発行

図書館おすすめの本

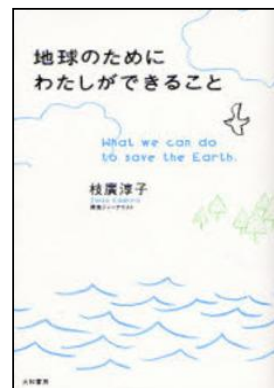
()内は、分類です。



『たまごを持つように』
(マハ)

まはら三桃／著 講談社

まはら三桃の青春小説3連発。今、青春まっただなかの人、昔の青春を思い出したい人におすすめ。



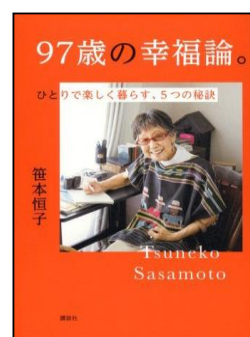
『地球のために わたしができること』(519)
枝廣淳子／著 大和書房

わたしたちは身近な場所で、どんなふうに地球と繋がっているのか？ そこでわたしたちは何ができるのか？ がたくさん詰まっています。『いらぬ携帯が資源にかわる』など、自分の暮らしと地球のつながりを感じさせてくれる一冊です。



『心のおくりびと』(36)
今西乃子／著 浜田一男／写真 金の星社

「やっと……やっと……泣けた……」震災で犠牲になった人々の体を生前の姿のように復元し、家族のもとへ帰す「復元納棺師」。残された人がきちんとお別れをし、思い出を継承する手伝いをする、女性納棺師の記録。



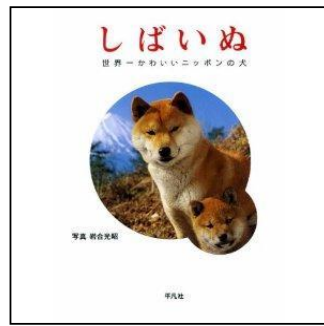
『97歳の幸福論。』(740)
笹本恒子／著 講談社

あなたのおばあちゃんは何歳ですか？ この本の笹本さんは、なんと97歳！ 都内のマンションで一人暮らしを満喫中です。眼鏡をたくさん持っていて、洋服に合わせてコーディネートするほどファッションに興味津々で、もちろん仕事もバリバリこなす、素敵な方なんです！



『高校生レストラン、行列の理由。』(673)
村林新吾／著 伊勢新聞社

全国で唯一、高校生が運営するレストラン「まごの店」が三重県にあります。高校生活のあつという間の三年間、何かに打ち込み、真剣に努力することが大切と、教えてくれる先生の熱い思いが伝わってきます。



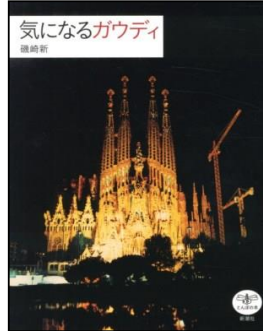
『しばいぬ』(645)
岩合光昭／写真 平凡社

チワワやマルチーズもかわいいけれど、このりりしさはまさしくニッポンの犬！ムクムク、コロコロとしたコイヌや日本の四季の風景に佇む写真を収録。よい子犬の選び方、日本犬の魅力についての解説も載っています。



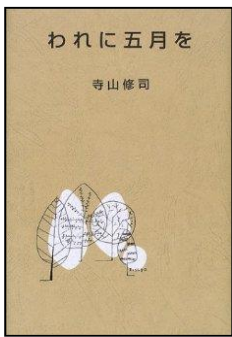
『小さな骨の動物園』(481)
INAX出版

オオアリクイの歯のない頭骨。オリックスが持っている鼻の中のレース細工。迫力満点のヘビの骨。ふだん見えない体の中の骨は、見るとこんなに美しくおもしろいのです。



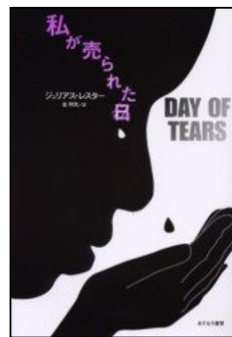
『気になるガウディ』(523)
磯崎新／著 新潮社

スペインの都市バルセロナにある教会「サグラダ・ファミリア聖堂」。これを手がけたのは、建築家のアントニ・ガウディです。西洋建築＝左右対称というイメージをくつがえす、おもしろい建築物がいっぱい！



『われに五月を』(911.0)
寺山修司／著 日本図書センター

誰もが揺れ動く青春の一時期。その内面を、詩・短歌・俳句等で、感性豊かに伸びやかに詠いあげた、寺山修司青春のモニュメント……。没後29年、今なお、熱い支持が続く寺山修司の第一作品集。



『私が売られた日』(Nレス)
ジュリアス・レスター／著 あすなろ書房

1859年、アメリカ史上最大の奴隷市がジョージア州で行われた。天は荒れ狂い、激しい雨を降らせた。この雨は神の涙だと言われた。運命に翻弄される人々。衝撃的な史実が奴隷研究家である著者の手により戯曲形式で語られる。



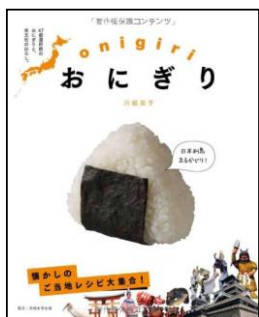
『前に進むチカラ』(785.2)
北島康介／著 文藝春秋

人生において重大な決断をしなくてはならない時、何よりも大切なのは、しっかりと自分の気持ちと向き合うこと。自分の中の弱さやズルさとも正面から向き合い、進むべき道について考え、そしてイメージし、信じて進んでいく。答えをだすのは“自分”。



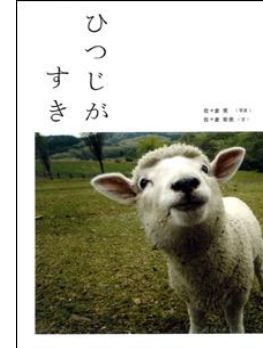
『プラネタリウム散歩』(440)
マーブルブックス／編 マーブルトロン

日本初のプラネタリウム。それは1937年、大阪市立電気科学館に誕生。肉眼では確認することができない星もドーム状のスクリーンに鮮やかに映し出し、見ている人をちょっとした宇宙旅行へと誘います。プラネタリウムの仕組みや歴史、楽しみ方も紹介されています。



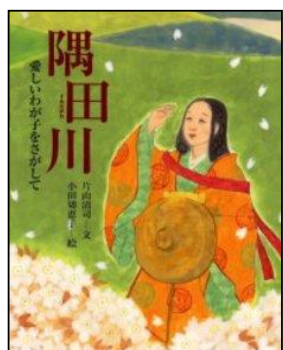
『おにぎり』(596.3)
川越晃子／著 グラフィック社

47都道府県のご当地おにぎりが載っています。どれもおいしそう！愛知県はエビのてんぷらをおむすびに入れた「天むす」。福岡県は「からし明太子」。じゃあ、奈良県のおにぎりは何か？おにぎり専門店店主に聞いた「おいしいおにぎりの作り方」も載ってるよ！



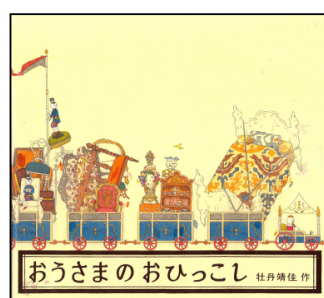
『ひつじがすき』(645)
佐々倉裕美／文 佐々倉実／写真 山と溪谷社

あなたもひつじ飼いになる！？ひつじの種類に歴史、羊毛加工から飼い方、さらにひつじ写真の撮り方、羊語辞典！？まで。ひつじについての情報がいっぱいの、ありそうでなかったマニアックな1冊です。



『隅田川 愛しいわが子をさがして』(Eス)
片山清司／文 小田切恵子／絵 BL出版

能の名作『隅田川』。永遠のテーマである“母と子の愛情・絆”を基に、観世流能楽師が、子を亡くした母親の哀しみを、美しい日本語のしらべとともに、叙情的に語ります。



『おうさまのおひっこし』(Eオ)
牡丹靖佳／作 福音館書店

恥ずかしがりやの王様は困っている者がいると何かしてあげたくります。でも、うまくお供たちに命令できません。慌てんぼうのお供たちは勘違いしてばかり。ある日、お城を引っ越すことになりました。はてさてうまくいくでしょうか。